

親子聖書日課

NO.1764 2022.7/17-23

名前

[日]「死んだら骨になる」と思うと、死は恐ろしいものです。しかし、主は死から復活し、死に勝利されました。主は「死と陰府の鍵」を持っておられるので出入り自由です。主を信じる者にとって、死は天国に行く門出です。死は恐くはありません。

[月]主の十字架の愛を忘れて、人を裁いたり、文句を言う人はいませんか。その人は「初めの頃の愛から離れてしまった」のです。「どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて初めの頃の行いに立ち戻り」ましょう。信仰の原点に戻ることです。

[火]「鋭い両刃の剣」を持ち、「目に燃え盛る炎」のような主に会えば、形だけの信仰は通用しません。神の目には素通しです。主は私達の「行い、愛、信仰、奉仕、忍耐」を見られます。この5つが最初の頃の行いより劣るなら、悔い改めましょう。

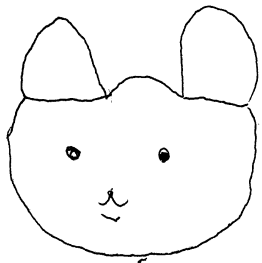
[水]教会は「生きた教会」と「死んだ教会」があります。サルデイスの教会は富んで、立派でしたが、霊的には死んだ教会でした。その反対にフィラデルフィアの教会は小さな教会でしたが、主の命で溢れていました。上尾教会はどちらですか。

[木]生ぬるいコーヒー、生ぬるい温泉は嫌ですね。信仰も同じです。「熱いか冷たいか」これは感情的に両極端になることの勧めではなく、信仰における真剣さを強調しています。優柔不断な信仰生活は祝されません。信仰に熱く燃えましょう。

[金]「主の御心が分からない」人は、「ここへ上って来い」との招きを聞いて、主の御前に出ることです。すると、「この後、必ず起こること」が示されます。礼拝、祈禱会に出席し、毎日、静聴の時を持つことが、「ここへ上る」ことです。さあ、上りましょう。

[土]人間には将来のことが封印されていますが、「ほふられた小羊」イエス様だけが開くことができます。主は「7つの角と7つの目」を持ち、全てを知っておられるだけではなく、万事を益として下さいます。この主に全てを委ね、主に従いましょう。

	聖書	問題	答え
日	黙示録 1:9-20	主は世々限りなく生きて何と何の鍵を持っていましたか。	
月	2:1-11	死に至るまでどうであるなら、命の冠をいただけますか。	
火	2:12-29	主が行くときまで、今持っているものを、どうすべきですか。	
水	3:1-13	あなたが生きているとは名ばかりで、実はどうしたか。	
木	3:14-22	どんな教会(信仰)は、主の口から吐き出されてしまいますか。	
金	4:1-11	「この後、必ず起こることを示す」ために、どうなさいと言われましたか。	
土	5:1-14	何は、力、富、知恵、威力、誉れ、栄光、賛美を受けるにふさわしい方ですか。	
感想と祈りの課題			



絵:りな